

このコーナーでは、都産技研の研究員をクローズアップしてご紹介します。研究員の人となり分かることで、より都産技研を身近に感じていただきたいという思いから生まれました。どんな人が都産技研にいるのか、ぜひご覧ください。

「3D」をキーワードに ものづくり支援

今回ご紹介するのは、システムデザインセクターの小林 隆一さんです。小林さんは、ものづくりの現場で注目されている3Dプリンターをはじめとする3Dデジタルものづくり支援を担当しています。お客さまから数多くの依頼が寄せられており、忙しい毎日を過ごしています。

●主な仕事内容は？

主に、ナイロン粉末造形機を用いた試作支援や3Dプリンターに関する技術相談を行っています。他にも3Dデジタルデザイナーの機器利用対応、3D-CAD入門セミナーの講師を務めるなど、「3D」をキーワードに業務に取り組んでいます。

●小林さんが日頃心がけていることは？

都産技研を利用していただいた方に、私たちの技術やノウハウをできるだけ共有してもらえようように心がけています。都産技研をお客さまの仕事のサイクルに組み込んでいただき、都産技研をうまく活用してもらえようように考えながら日々業務に取り組んでいます。

お問い合わせ システムデザインセクター<本部> TEL 03-5530-2180

Introduction



システムデザインセクター
研究員
小林 隆一

粉にまみれながら

運用している造形機はナイロン粉末を材料として扱います。粉末なので取り扱うときは当然ながら舞いますし、作業着に付着してしまいます。作業中は、写真のようにマスクと帽子を着用しています。粉にまみれながらも、造形機でできあがるモノの高精度化について考えていたりします。

TOPICS

クルマの軽量化技術展に出展



都産技研ブースの様子

平成27年1月14日～16日に東京ビッグサイトで開催された第5回クルマの軽量化技術展に出展しました。ブースでは、電子・機械グループが研究を進めている「曲げに強いサンドイッチコア材」などのご紹介をしました。車の軽量化技術は燃費向上に直結するため、8万5千人を超える来場者が集まり、会場は熱気に包まれていました。都産技研のブースでも、熱心に研究員に質問されるお客さまが目立ちました。

大学・大企業(特許・技術)説明会 開催



東京イノベーションハブでの事業等紹介



個別シーズ説明会

平成27年1月27日、都産技研や大学・大企業の特許や技術を中小企業の製品化や事業化につなげるための説明会が都産技研本部で開催されました。これは、経済産業省の「シーズ発掘事業」の一環として(一社)コラボ産学官と連携して行ったものです。都産技研が保有する特許シーズの紹介のほか、東京理科大学や富士通(株)など、信用金庫がおすすめる12機関25の特許・技術シーズを各発表会場にてご紹介しました。当日は130名を超えるお客さまにお越しいただきました。今後もさまざまな形で研究成果や技術シーズを発表する場を設けていきますので、ぜひ都産技研をご活用ください。